

1973年知内町小谷石地区土砂災害被災流域巡検

報 告



函館高専 社会基盤工学科 金俊之

本巡検は北海道支部と東北支部合同により実施したものである。
学生参加について、砂防人材育成推進協議会から支援をいただいた。

1. 概要

(1) 巡検箇所の概要

場所：知内町小谷石地区（JR木古内駅から車で30分ほど）
概要：1973年に土石流災害が発生した地域、約50年が経過

(2) 小谷石地区

- ・「海辺の秘境」と呼ばれる地域
- ・観光で有名な「青の洞窟」
- ・漁業（こんぶ）が盛んな地域

知内町小谷石地区



図 位置図

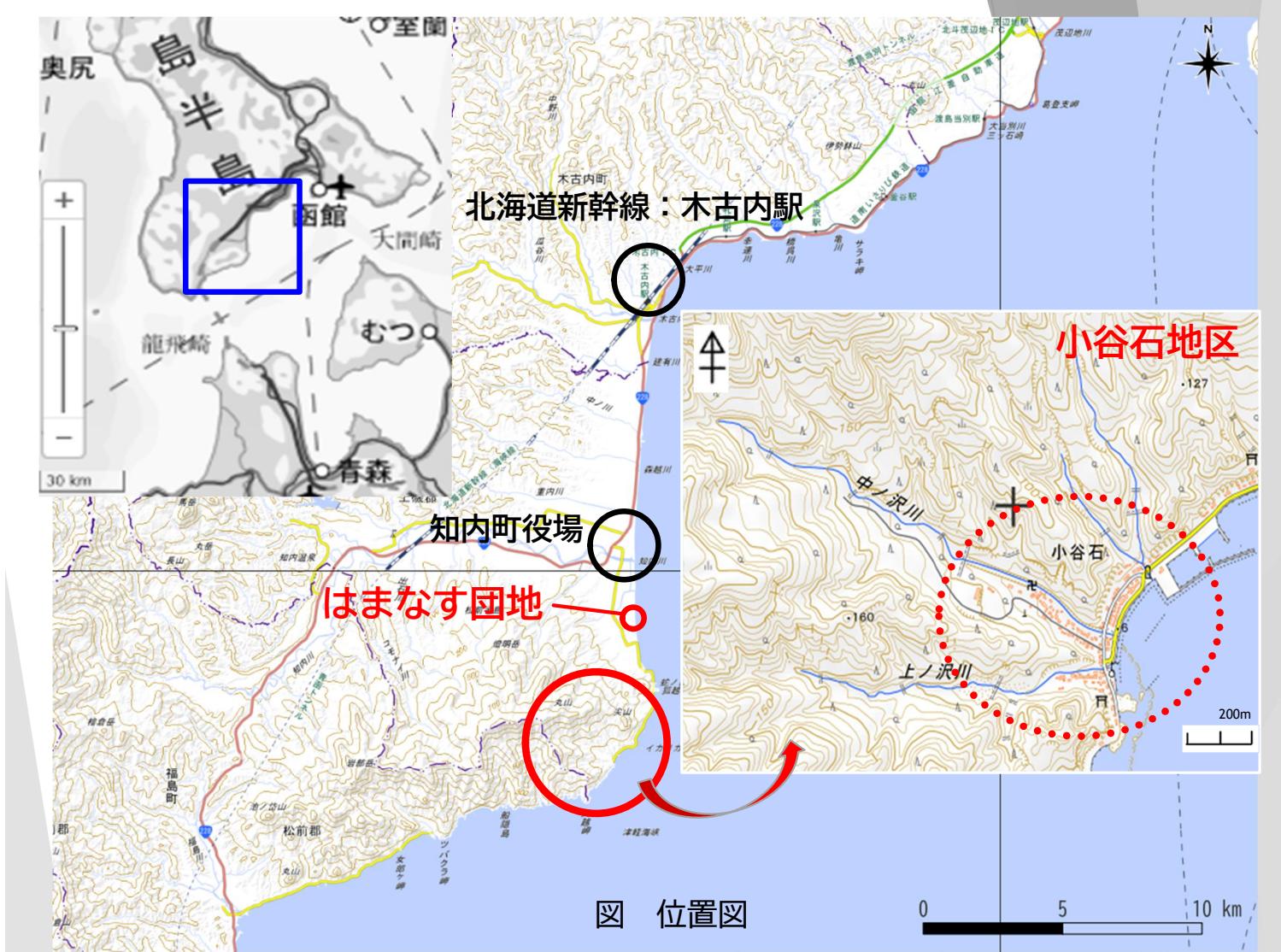
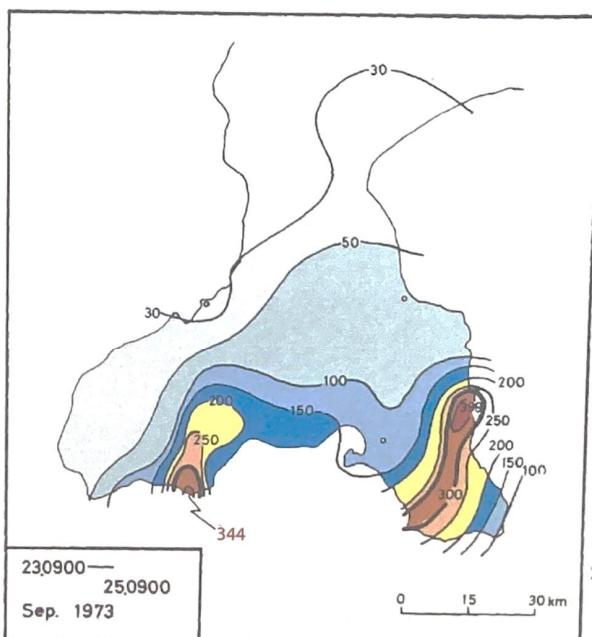


図 位置図

(3) 災害の概要

- 1973年に土石流災害が発生、**死者・行方不明者8名**
(死者:男2名、女2名、行方不明:女性4名)
- 小谷石土木現業所: 24日13~14時が97ミリ、14~15時が133ミリ、
降り始めからの総雨量は344ミリを観測



1973年9月23～25日の渡島半島の総雨量 (mm)

図 総雨量線図

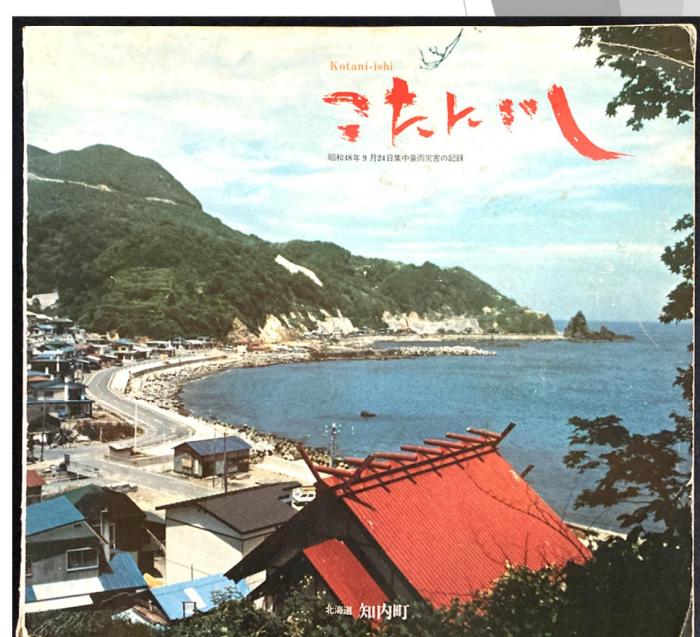


図 災害記録集「こたにいし」

提供: 知内町郷土資料館

(4) 被害状況

- ・地区内の全248棟の住宅は、なんらかの被害を受けた。
- ・被害総額は約22億円

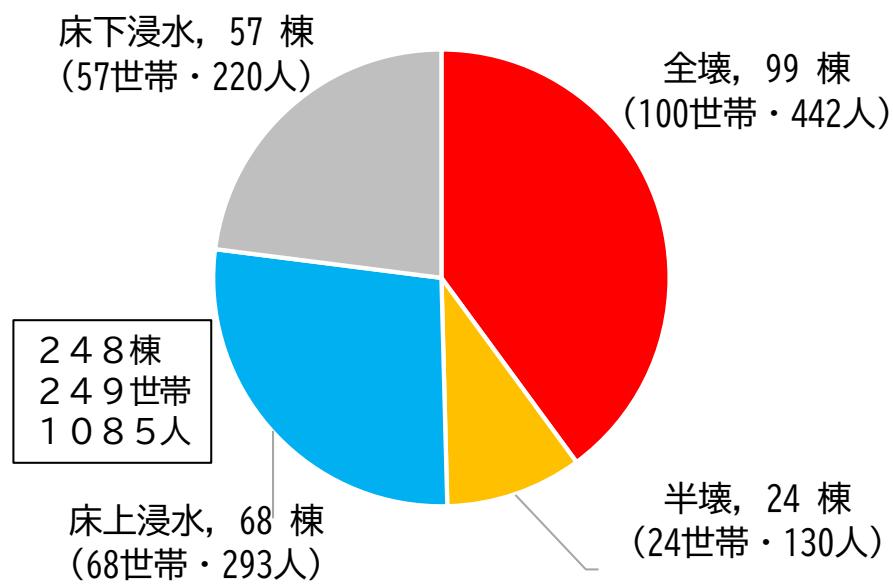


図 被害状況

参考：知内町郷土資料館提供資料に基づき作成



出典：災害記録集こたにいじ



出典：災害記録集こたにいし



出典：災害記録集こたにいし



避難先で恐ろしかった当時の思いを語り合う住民。

やっと落ちつきをみせ、笑い顔も見える。(涌元町内会館)

出典：災害記録集こたにいし

2. 案内

令和7年度 1973年知内町小谷石地区土砂災害被災流域巡検

主催：(公社)砂防学会北海道支部・東北支部
後援：知内町
(公社)砂防学会 CPD認定プログラム



北海道上磯郡知内町小谷石地区は、昭和48年（1973）9月24日の大雨による大規模な土石流災害が発生し、死者・行方不明者7名を出す大災害となりました。道南地域において過去50年で最大の土砂災害です。現在は治山・砂防施設が整備され、矢越岬や「青の洞窟」へのクルージング基地として、知内町の主要な観光拠点となっている漁業の集落です。被災から半世紀が経過し、現地の復旧・復興状況、防災意識や対策、警戒避難体制などについて、会員および関係機関所属の方々の技術研さんの場としてご参加いただければ幸いです。今回開催する知内町は、本州に非常に近いことから、北海道支部・東北支部合同の巡検として計画しました。奮って参加応募をお願いします。

日 時：2025年（令和7年）10月31日（金）12:00～ 11月1日（土）12:00

場 所：知内町小谷石地区

内 容：● 1日目（10/31）

12:00 矢越山荘（知内町字小谷石514番地）集合（希望者は昼食を購入できます）
13:00～15:00 治山・砂防施設、溪流状況や崩壊跡地の見学
15:00～16:00 災害碑、小谷石地区展望所
16:00～16:30 宿泊場所（知内温泉）へ移動 ※1泊2食で2万円程度（意見交換費混み）
18:00～ 意見交換会

● 2日目（11/1）

9:30 ロビー集合
9:30～10:00 見学箇所へ移動
10:00～11:45 知内町郷土資料館見学、被災者との意見交換
12:00～ 知内かき小屋で解散

参加費無料
（宿泊費別途必要）
事前申し込み
必要！

3. 参加者

- ・東北支部 7名
- ・北海道支部 7名

4. 巡検概要



